

414  
A 3805

午月  
新刊  
拾遺書  
西上



正長御伺申上候

大正十一年四月  
隈侯爵郵寄贈



2706

初版の複製本が別荘に  
蔵されておりました。代料を  
種粒取允  
又複製目方... 複製は其候度  
紙紙取  
綿之所裁別... 甚難種口  
紙紙取  
別荘に... 複製... 産附...  
複製... 紙紙... 複製...



中世奉 此方之費と云 亦存此台也 述は別  
惟通為紙子割を述て仕は式給付之為紙子丸  
淨極平打込之歎應之高申は一を原紙の自  
流に致は亦も宜敷惟我に此給付候也  
淨國內賣買之限は之新柄も亦亦之申々  
業は抑振しつる亦亦一でも甚難申亦均者察  
申分一も亦つて申亦亦一も割を述稅也

淨分除被下並候式若割を述稅淨取と申  
於以亦亦申上は通多の班子亦附さる亦  
丸賣買之振子准は九種粒數に應は六七枚或七八  
枚迄申於亦枚と云は亦亦淨規則云は亦難程  
と亦之亦申上は再亦之亦難程と云は亦亦亦  
惟之亦亦附之段及亦亦淨同申上は亦亦上

寶治三年十一月

官印



郡上御簿  
御役所